
手

L i t a l y

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
手

【Nコード】
N3895E

【作者名】
Italy

【あらすじ】
生きる事に理由はある。いや、無いかも。理由。理由？無い事も無いかもしれない。そんな気がしない事も無いでもないけど。まあ。どっちかと言えば綺麗じゃないほうの手で。綺麗じゃないほうの手へ。

真夜中の薄明かり

17インチの世界が僕の全てで

そこに潜む何かに対して

解読不可能な秘密のモールス信号で合図でも送るように
古いキーボードを軽くとんとんと指で叩く

自分で切ったボサボサの髪とよれたTシャツ

カップ麺の残骸と空のペットボトルが部屋の7割を占拠する

ドアの向こうは怖い世界だ

とても怖い世界だから

僕は今日もここで古いキーボードを叩く

エッチな格好をしたフィギュアがパソコンの周りを囲んでいて

その隙間に僕のいるべき場所はある

僕の嫁は言うまでもないけど右から二つ目の奴だ

彼女たちは僕を罵らないから好きだ

僕を臭いとも汚いとも醜いとも言わない

だから好きだ

二次元の世界が僕の生きる本当の世界

なんてね

神様は不公平だ

だけどそれを言ったところで僕の現実是不変

まじめな不細工より不真面目なイケメンが愛されるんだ

それが「正しい」世界だから

イケメンなんて皆死ねばいい
リア充なんて皆まとめて死ねばいいんだ
生まれつきハンサムなら僕はこうならなかった
もっとお金持ちの家に生まれてれば僕はこうならなかった
もっと優しい親の元にうまれてたら

糞だ

そう糞

やつらは糞だ

皆総じて

だから死んだほうがいい

死んだほうがいい？

ああ、それ僕か

死んだほうがいいかな？

ああ、そのほうがいいかもしれない

人が歩むべき道から足を踏み外すのはそう珍しい事じゃない
むしろよくあることだ
ほらこんな風に、ね

夜の町だけはわりと好きだ

人がいないから

僕を指差して笑う人間もいない

だから僕は夜の町を歩く

毎晩、毎晩、歩く

路上で暮らすよれた老人

夜中の散歩で僕に「やあ」と言った
僕もそれを真似した

彼らの真似をするのは簡単だ
彼らは僕に似てる

似てるから

暗がりを選んで歩く丸い背中

僕のお金で一緒にラーメンを食べた

なけなしの金だけどエロゲに使うよりは幾らか有意義だ
一人は寂しい

その事を彼も僕もよく知っている
だからラーメンを食べた

駅の高架下から朝焼けを見た

ゴキブリが寄って来たから僕はそれを蹴ろうとした

ホームレスがいった

「殺生はやめてくれよ
殺すのは嫌いなんだ
たとえばそれがゴキブリでも」

似てると思った

似てるから

地面を這って泥まみれの汚れた背中

別れ際に彼が手を差し出した

反吐と垢とそれ以外の何かで汚れた老人の手

僕の手だって言うほど綺麗じゃないからそれを握った
暖かった

ゴキブリも殺せない弱虫の手

ゴキブリ扱いされてきた弱者の手だ

光が影を作る

ぼくたちは光の影で濃んで腐る

ぼくはきもおたくだから

もうなんか、全然だめで

でも

全然駄目だけど

ゴキブリのように醜く浅ましく生きるべきかもしれない

生きるべきなのかもしれない

笑われながら、蔑まれながら、

滑稽に、滑稽に

でも

そう生きるべきかもしれない

でも

全然駄目だから

死にたくなって

殺したくなるくらい

人とか自分とか

もうなんか殺したくなるくらい

もうなんか全然駄目で

でも

全然駄目で

ほんとは死にたくなてないけど

全然ないけど

でも

全然駄目で

死にたくなって

でも

だって

だけど

でも

僕はあの手のぬくもりを忘れたくはなくて
それは汚れた手と汚れた手の間にだけ存在する不思議な体温で

だから

やっぱり生きるよ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3895e/>

手

2011年1月15日21時02分発行